

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月19日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677500128
法人名	社会福祉邦人 陵幸会
事業所名	グループホーム 陵幸園 ところ
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町麓3811番地2 (電話) 0994-58-5055
自己評価作成日	平成30年2月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは同法人施設に隣接しホーム周辺は民家や畑が広がりどかな環境の下9名の入居者様が家庭的な雰囲気の中で生活されています。個人の尊厳を重視しその人らしく生活が送れる住環境を整え、地域とのつながりも大切にしています。ホーム菜園で季節毎の野菜を作り旬の食材を献立に取り入れ春と秋には花見ドライブを行い桜やコスモスの花々を楽しみ気分転換を図っています。地域の方々とのつながりも強く、穫れたての野菜を頂き和え物や煮物等を作りお礼をしています。子供会との交流や慰問の受け入れ、地域の奉仕作業に参加したり年2回の消防訓練には地域の方々毎回協力して下さり日常的に交流ができています。スタッフも各々の持ち味をいかし信頼関係を構築しながら入居者様の思いに寄り添いこころ理念に沿って毎日のケアに取り組んでいます。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年3月2日

- ホームと地域の関係性が良好で、日課の散歩がてら近隣の農家の方と会話したり、気軽に訪ねて下さる地域の方もおり、いただいた採れたての野菜を料理やおやつ作りに活かし食を楽しんだりしている。また、地域交流の場としてホームを活用していただくなど地域貢献もしており、オレンジカフェを通じて家族の参加や子どもとの交流、地域の方々との交流が深まっている。毎年、利用者は、地域の文化祭に出展した作品を観賞に行くなど職員と外出し、地域の方々積極的に地域交流している。
- ホームには、菜園があったり周囲は地域の方の畑が広がっている。また、法人主催の勉強会やホームの地域交流室を提供し、地域の会合等に活用していただくなど地域貢献している。日常的に地域に開かれたホームである。
- 経験豊富な職員も多く認知症ケアにおける知識や技術力についてはスキルも高く有資格者も多い。管理者は、職員から意見や提案を聞く機会を設けサービスの質の向上に努め、運営に反映させている。
- 昼夜想定にて避難訓練を年2回実施しているが、地域の協力体制もあり、避難訓練の実施を有線放送で呼びかけ訓練に参加していただいている。実際に避難、誘導などの役割分担をするなど防災に対する意識も高い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	自立支援と絆を大切にしているところ理念をホーム内やこころ便り、パンフレットに掲示している。理念を共有し理念に沿ったケアを心がけている。	ホームの理念は、自立と人と人の絆を重視した理念であり、玄関や共有スペースに掲示され、パンフレット、毎月の便りにも掲載し利用者や家族にも意識づけをおこなっている。また、職員はミーティングなどで振り返りの機会を設け理念を共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方より季節の野菜や果物等頂き、頂いた野菜で煮物や和え物等作りお返ししている。散歩時は気軽に声をかけて下さり日常的に交流している。	地域との関係性が良く、散歩がてら会話したり、気軽に訪ねて下さり野菜の差し入れを受けたり、法人の行事を通じて日常的に交流するよう事業所自体が地域と関わり、地域貢献するなど互いに協力関係があり地域との交流活動の促進に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	11月の町文化祭に向け出品作品の準備に取り組んでいる。出来上がって作品は文化祭に出品し展示作品の見学にも出かけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回定期的に開催し、ご家族代表、民生委員、地域代表、市介護保険関係職員等の出席を頂き状況報告、課題等話し合いサービス向上にとりくんでいる。	会議では、質疑応答が活発にありホームの悩みや地域の課題などをメンバー間で意見交換するなどして出された意見を職員全体で話し合い、サービス向上に活かしている。管理者は、家族の参加が見込めるよう検討し、より多くの家族にホームの実情や取組状況を知ってもらいたいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月毎の運営推進会議には地域包括支援センターや市役所職員が出席して下さり意見を取り入れている。	地域包括支援センターとは、徘徊模擬訓練への参加や認知症サポーター養成研修会の開催などに協力関係があり、市主催の研修会への参加や救急救命勉強会にも参加し協力関係を築いている。また、援護係担当職員との連携や協力体制が構築されている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在拘束事例はない。身体拘束マニュアルを作成し勉強会を行いスタッフ間で再認識している。	玄関は解放され来訪者が訪ねてきやすい雰囲気がある。法人の身体拘束委員会があり、合同での勉強が定例化している。職員は、身体拘束をしないケアを実践しており、言葉の使い方も丁寧で表情も柔らかく、行動を制限するようなケアをしないよう意識を統一し、身体拘束の弊害について十分に理解した上で日々のケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や研修会に参加し虐待の意味を理解し、日々のケアの中で入居者様に対する言葉かけ等検討し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会では個々の必要性を話し合い成年後見制度についても理解し対応できる様になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時契約書に沿って十分な説明を行い、不安や疑問点等伺い納得、理解された上で契約を締結している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が意見、要望を気軽に言ってお下さる様な家庭的な雰囲気作りを心がけており面会時や家族会で要望等伺っている。出された意見、要望等はミーティングで検討している。	利用者には、日々の暮らしの中で意見や要望などを聞き取り、家族には面談やアンケート調査、家族会を通じて運営について意見交換している。家族会では、職員が席を外し家族だけの話し合いの時間を設けるなどの工夫があるが、管理者は、より具体的な意見が記載できるようにアンケート内容を工夫したいと考えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや職員会議等で運営に関する提案や意見を聞く機会を設けている。	職員は、朝のミーティング、休憩時間、職員会議、ユニット合同会議、申し送りノートを活用し、意見や提案を聞く機会がある。トイレの手すり設置や災害時の必要物品の購入、夜勤体制の検討など職場環境などを整備し働きやすい職場を目指し職員の意見を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の都合や意見を取り入れた勤務体制を作り向上心を持ち勤務できる様心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種研修会やグループの勉強会には積極的に参加を促し知り得た事や研修内容は職員会議で発表しスタッフ間で共有しスキルアップにつなげている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホームとは会を設けお互い情報提供行い他施設の良い所は取り入れ質の向上につながる様取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前にホームの様子を見て頂き不安な事や要望等傾聴している。入居されてからも毎日のケアの中でご本人様の思いに寄り添いながら信頼関係を構築している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族のお気持ちを考えながらホームで安心して過ごして頂ける様安心して住みやすい住環境作りに努めている。</p>		
		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人の状態把握に努め必要としている支援の優先順位を見極め対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人の残存機能を引き出しながらスタッフと一緒に洗濯物の整理や食材の皮むき、選別等行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は居室にて一緒に過ごして頂き訪問しやすい雰囲気作りを心がけている。家族会では一緒に食事を摂られたり慰問見学もされ楽しく過ごして頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	園外散歩や町の文化祭の見学等馴染みの方と交流できる機会を作っている。ドライブは親しんだ場所を通り声かけも行っている。	電話の取次ぎや手紙の代読、年賀状などの代筆を支援したり、行きつけの美容院に出かけたり、種子島出身の方はご家族と故郷訪問された方もいる。また、家族と外食やお寺参りに行かれる方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で洗濯物の整理や野菜の選別等共同生活を通して交流を深めている。個々の性格や関心事等を配慮し活動やレクで支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院の為に退居されても入院先を訪問したり電話等で家族をフォローしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人、ご家族様の要望を伺い毎日のケアの中で思いをくみとりケアプランを作成している。意思伝達の難しい方は状況把握の上作成している。	利用者の日々の暮らしぶりや言動、家族や職員の情報を踏まえ、カンファレンスなどで話し合い本人の思いを共有するようにしている。ケアチェック表には、本人や家族の思いが記載されており介護計画書に反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	他機関やご家族、ご本人に伺い生活歴や趣味、特技等情報収集し色々な思いを把握する様努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ全員が一人一人の日常の過ごし方や心身の状態、残存機能等総合的に把握する様努めている。申し送り簿や連絡ノートで情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の思い、スタッフの意見を合わせ介護計画を作成している。6ヶ月毎に状態把握やスタッフの意見も聞き見直しを行っている。状態変化時には随時見直し計画作成している。	ケアチェック表にて、アセスメントや課題分析等を実施し、毎月モニタリングをしている。ケアチェック表には、本人や家族の思いが記載されており介護計画書に反映させており、6ヶ月ごとのモニタリングや必要に応じて見直しにも柔軟に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別に記録し体調変化や注意点は申し継ぎ簿や連絡ノートに記入し情報を共有する。介護計画の相違点があればその都度検討し見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状況、ご家族の意向を伺いながら施設と調整ながら対応策を検討している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内の催し、地域のバザー等見学したり慰問の受け入れや地域子供会との交流会も行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の意向を元にかかりつけ医の定期受診支援も行っている。月2回主治医の訪問診療もあり医療機関との連携を図っている。	母体の医療機関とは、24時間オンコール体制が取れており、他科受診は、ご家族に協力をいただくが、必要に応じて職員も対応している。訪問歯科診療や薬剤師との連携があるなど適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員は日々のケアの中で入居者の体調変化を確認したら看護職員に連絡し相談。適切な受診や処置が行える様支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時にはご家族と一緒に説明を受けている。途中面会にも伺い情報を得ている。退院後の受け入れ等連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に向けた支援は契約時マニュアルに準じ事業所の方針等ご本人、ご家族に説明を行っている。体調変化時はその都度ご家族の意向を伺い方針の共有を図っている。</p>	<p>入居時、マニュアルにて事業所の方針等について、説明し同意をいただいている。看取りの実績はなく、重度化した場合は段階に応じて本人や家族の意向を踏まえ、主治医や関係者の意見を聞き取り、医療機関や施設を紹介するなどしてホームでできる最大限のケアを提供し安心と信頼を得ている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアル作成の上ミーティングや会議で個々の対応については全スタッフで周知徹底し検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防訓練を実施している。地域の方も訓練参加をして下さり、避難誘導協力や消火器での訓練にも参加して下さっている。ホーム内では毎月職員間で避難訓練を実施している。</p>	<p>地域には、有線放送を活用し避難訓練の実施を知らせ実際に地域住民の参加があるが、日頃から職員が直接訪問して協力依頼するなど関係体制を構築している。自動通報装置があり、地域の協力者にも通報するシステムである。毎月の自主訓練、年1回は消防署立ち合いにて避難訓練を実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常の会話は丁寧な言葉使いを心がけ居室への出入りはその都度声かけを行っている。人格を尊重しプライバシーの保護に留意し敬意をもって対応している。	計画的に研修を実施し、人生の先輩として敬い常に尊厳を持って接している。たまにニックネームで呼びかけ本人の安心感を得ている利用者がいるが、基本的には、さんづけで呼びかけプライバシーに配慮したケアを徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常のケアの中で入居者様の思いを汲み取り気軽に会話が出来る雰囲気を作り入居者様の自己決定が出来る様に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各々の生活のペースを大切にし急がず無理強いせずその人らしい生活を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族の支援により髪染めや散髪は馴染みの美容院を利用され、希望によりスタッフが散髪し衣類調整も行い身だしなみを整えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は大きな楽しみであり常に自分のペースで食べて頂く様支援している。2ヶ月毎の料理教室ではスタッフと一緒に作る楽しさを味わって頂き食欲に繋がっている。	ユニットごとに献立や食材が異なり、差し入れの食材を活用して、常備菜を作ったり、ホットケーキやたこ焼き等のおやつ作りを職員と一緒にしたりしている。また、お弁当箱を活用し、握り寿司弁当や幕の内仕立てにするなど雰囲気を味わい食欲増進に繋がるよう工夫し、食の自立支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各々の摂食状態に応じミキサー食や刻み等食べやすい形態で提供している。水分摂取量は毎食記録し把握に努め定期的に管理栄養士のアドバイスももらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの徹底に努めている。含嗽の出来ない方は口腔用のプレペイトで拭き取りを行い、義歯の不具合等歯科受診も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意や便意のない方も定期的にトイレ誘導を行い出来る限りトイレでの排泄で対応している。個々に応じてリハパンツも着用されている。	食事や水分補給、適度な運動を取り入れ便秘予防し、内服薬に頼らないケアを実践している。職員はなるべくトイレで排泄するようケアしており、おむつへの排泄が減らせるようトイレ誘導したり、適切におむつ交換するなど排泄の自立支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックを毎日行い水分補給、運動等促している。食物繊維の多い食材も取り入れ状況に応じては投薬による排便コントロールも取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の体調や希望に応じてゆっくりと入浴支援を行っている。拒否される方はタイミングを計って再度声かけをしている。入浴準備もしている。	利用者には、週2～3回程度順番を決め公平に入浴してもらっているが、曜日や時間は決めず要望に応じて入浴していただくなど支援している。また、足浴を施行し爪白鮮対策にて清潔保持ができるようケアしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各々の意思に沿って食後等居室にて休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の用法、用量、副作用、病状を理解し服薬支援を行っている。内服変更時には記録を行い全スタッフに周知している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴や趣味、特技等日常生活に活かして野菜の選別や皮剥き、創作活動等支援している。、		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気や体調等考慮し、園外散歩やドライブ等外出を行い気分転換を図っている。地域の方のご好意でスタッフと野菜の収穫に行く支援も行っている。	日常は、近隣の散歩、ホーム菜園での野菜作りなど天候や体調に合わせて支援している。普段行けないところには、年間行事計画を作成し計画的に外出支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物と一緒に出掛けた時は支払いをして頂きご家族よりお金を預かり管理している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>要望に応じてご家族に電話をかけたり取り継いだりしている。手紙の代筆も行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共同空間は不快感のない様生活感や季節感を取り入れた壁画作りやお花を飾り居心地良く過ごして頂ける空間作りを心がけている。</p>	<p>玄関には、季節の生花が活けてあり、扉は解放されている。共有スペースは、テレビやソファが配置され思い思いに過ごせるよう工夫されており、ウッドデッキがある。壁面のひな祭りの装飾が季節感を与えている。また、利用者の生活ぶりを伺わせる写真や作品が掲示されており生活感のある空間である。毎年、文化祭に出展している作品も来訪者の目を和ませている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入退居による入居者様の変更や気の合う入居者様同志ソファやテーブル席の位置替えや席替えを行い各々の居場所を心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた小物や衣類等を持ち込んで頂きご自分のお部屋として安心される居住環境を心がけている。	テレビ、電気スタンド、寝具などの馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫している。また、部屋の物を動かさないよう配慮し環境整備するなどして安心感を得ている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーで廊下やトイレ、浴室等手摺りを設置している。避難訓練用に蛍光テープを貼付し安全を図っている。使い慣れた杖、車椅子を持ち込んで頂いている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない